

171-0014 東京都豊島区池袋4-17-10 土屋ビル4F

AA

日本ニューズレター

No.79

## A 類理事退任にあたって

岡崎 直人



このたび2期2年、計4年間のA類常任理事を退任するにあたりまして、AAのメンバーの皆様お一人お一人とAAをいつも愛してくださっているAAの友人の皆様にごあいさつ申し上げます。

私がノンアルコールクとしてAAの全体サービスに関わりを持ちましたのは、GSB(ゼネラル・サービス・ボード)のメンバーになってくださいと請われた6年前からです。それまでは、AAの活動には多大な関心を持ち、色々なメンバーやグループとの交流はありましたが、AA全体との関わりはありませんでした。全体サービスに関わらせていただいて、病院でソーシャルワーカーとして働いている目の高さでは見られない、全国的なAAの成長を見ることができました。その一方では人間で言えば成人に達する直前である十代最後の時期のAAの様々な悩み苦しみも共に味わった感じがいたします。それは例えば、AAを伝えてくれたアメリカという「親」からの自立であったでしょうし、多くの課題の中で何から手をつけていくかという大人としての分別を身につけることでもあったでしょう。

そして20周年の時に日本のAAは念願の全国評議会と常任理事会を設立して全国のサービス構成を確立しました。私は、日本のAAのあの歴史的な1ページを目の当たりに経験できたことを何よりも代え難い宝であると思い、大切に語り継いでいきたいと思っています。AAを思うメンバーたちの熱気(のぶつかり合い)と共に、「AAに命をもらったのだから」というメンバーの言葉が深く私の心に刻みつけられました。

ワールド・サービス評議員を経験させていただいたことも、大きな大きな宝です。コロンビア(カルタヘナ)、アメリカ(ニューヨーク)、ニュージーランド(オークランド)といった場所で出会ったAAメンバーの方たちの回復の姿に生身でふれることができ、AAが本当に世界の共同体であるということが実感できました。カルタヘナの最終日の野外パーティーで評議員の

人達が喜び一杯に踊っている光景やビル・Wが晩年を過ごしたステッピング・ストーンの晩秋の枯葉を踏みしめて歩いた道のたたずまいなどが、AAの目指す回復のイメージと重なり合って思い出されます。報告のため国内のいくつかの地域を回らせていただき、それぞれのAAのお国ぶりにふれさせていただいたことも貴重な経験です。また、東京で第1回のアジア・オセアニア・サービスミーティングを5カ国の参加で始めた日の朝、狭い地下の喫茶店にアメリカのGSOの所長が頭をぶつけそうになりながらやって来て、談笑したことも楽しい思い出の一つです。AAではいつも何かワクワクするような出来事が始まっているというのも魅力の一つなのでしょう。

A類常任理事としては広報を担当させていただいて、専門家のためのニューズレターの発刊とメンバーシップ調査を提案させていただきました。AAを知らない専門家にはAAの存在を知っていただき、AAを少し知っている専門家にはAAの正しい姿を伝えてAAを利用していただくことを目指しました。AAをよく知っていただいている専門家には、AAとのさらなる協力関係を作り上げていっていただきたいと願っています。この点では、「アルコール中毒防止協会」などど訳されるAAの訳語への対応など、まだやり残したこともあると感じており申し訳なく思っています。

この6年間に大きな進展を見たのは矯正関係へのメッセージであるといえるでしょう。ニュージーランドのメンバーたちが来日して「刑務所へのメッセージが我が国では盛んである、日本もやればできる」と月島で訴えたのは5年ほど前であったでしょうか。そしてその後日本の刑務所へもメッセージを運べる機会が出てきました。今度はこの念願の与えられた役割をしっかりと果たしていく責任が成人に達したAAに求められています。

日本のAAが着実な歩みを続けているのは確かです。しかし、それは解決しなくてはならない課題が少なくなることはありません。むしろ、成長と共に問題の山は大きくなっていくものです。今後も財政的なことなど、決して楽な道のりではないでしょう。しか

し入院中のアルコール依存症の人達が時として言うような「私は大したことないですよ。身体も仕事も家庭もそんなに問題はありせんよ」と現実を否認するせりふは、年季の入ったAAメンバーからは出てはこないでしょう。問題の大変さ、深刻さを見る眼は曇ってはいません。そして、その問題を乗り越える経験と力と希望をAA共同体は持

っています。アルコール依存症からの回復というメンバーの命をかけた問題の解決を与えてくれたAA。そのAAが直面する問題を今度はメンバーが解決していくというこのドラマから、今までのように今後も私自身が力をいただきたいと思います。本当に皆様ありがとうございます。

ではつぎに2000年からの新常任理事をご紹介します。

**田辺 等先生 精神科医・札幌**

「自助グループのなかで一番伝統のあるAAが、いま日本でどんな問題に遭遇しているのか、先生ご自身の目でしっかり見てあげたいかがですか」

そんなまわりの方からの熱い応援を受けて、AAの常任理事の役割をお引き受けする決心をしました…。というお言葉をいただきました。当事者から信頼されていることを名誉に思っておられるだけでなく、常任理事という仕事をとても重要だと考えておられるとのことでした。

これから、AAのために、個人のお立場で、ボランティアとして、時間と労力をさいていただくことになります。日本のAAとして感謝の気持ちでいっぱいです。

常任理事会では専門的なお立場からの冷静なご判断やご意見がいただけるものと、心から期待しております。

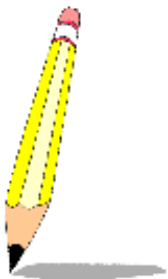
**時 2000年2月20/21/22日(日・月・火)**

**所 国立オリンピック記念「青少年総合センター」**

ミーティング アトラクション  
海外の仲間によるワークショップなど

**AA日本25周年記念集会**

**『25年の歩みを未来に…』**



**記念セシモニー**

20日/2時30分

**「日比谷公会堂」**

【日本列島縦断ウルトラスピカーズミーティング】他

参加費2,000円  
二泊二食4,000円  
二泊四食8,000円

前日(19日)宿泊も出来ます。締切1月19日

お問い合わせ AA関東甲信越セントラルオフィス ☎03-3576-2574  
JSO AA日本ゼネラルサービスオフィス ☎03-3590-5377



# —AA日本25周年記念集会—

国際シンポジウム（通訳付き）

## AAと医療関連機関との協力を深めるには



わが国でもAAの知名度は医療機関や援助者の間でずいぶん広まっていますが、実際に、AAは何が  
でき、できないことは何なのかという具体的な役割についてはまだ明確ではないというのが現状だと思いま  
す。アルコールの回復のために活用できる一つの社会資源としてAAをお役立ていただくためには、ア  
ルコールの援助に関わっておられる専門機関のかたがたと、まったくしろうとの回復途上者の集まりで  
あるAAとがどのように協力してゆけばよいのか、その具体的、効率的な方法をお互いに探っていく必要が  
あるでしょう。

今回、アメリカからその分野の経験が深い医師2名が来日し、さらに今年度からノン・アルコールと  
してAAの常任理事に就任されたお二人にも加わっていただき、シンポジウムを計画しました。アメリカで  
の経験やわが国の状況をお話いただき、活発な意見の交換の場になることを願っています。関係機関のかた  
がたの多数の参加を心からお待ち申し上げております。どの分野の方もぜひご参加ください。

2000年2月21日(月)

<10:00~12:00>

医療者としての役割とAAとの協力関係について——アメリカと日本の事情

### シンポジスト

Captain Ronald Smith, M.D.

U.S.NAVY (MC)

National Navy Medical Center Washington, D.C.

David B. Bockoff, M.D.

Internal Medicine private practice in Rosemead, California

Consulting Medical Staff, BHC-Alhambra Psychiatric Hospital and Ingleside

Psychiatric Hospital, Rosemead, California

AA日本常任理事会 A類（ノン・アルコール）常任理事

田辺 等

精神科医、札幌。勤務先：北海道立精神保健福祉センター

平野かよ子

社会福祉学博士、国立公衆衛生院、公衆衛生看護学部部長

<13:30~15:30>

AAと医療関連機関との協力を深めるには——ディスカッショ  
ン、Q & A

司会：岡崎直人 元ノン・アルコール常任理事

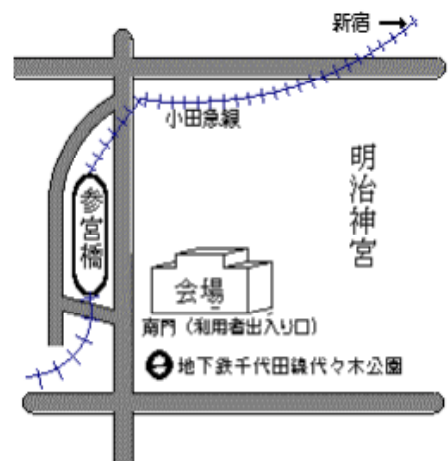
参加費：無料 —— ただし、25周年記念集会のほかのイベン

トに参加するためには参加費2,000円が必要です。

お申込：2月10日までに、お電話かファックスでJ S Oまでご連絡下さい。

**会場：国立オリンピック記念青少年総合センター** 東京都渋谷区代々木神園町3-1

**主催：AA日本常任理事会 専門家協力委員会**



青少年総合センター付近地図

# 全国サービスフォーラム開催に向けて メンバーのみなさんへ

……サービス：第3のレガシー（Legacy）遺産

「一体この第3レガシーとやらは正確にはなんなのか？」

「サービス活動は正確にはどの領域まで含むのか？」

その答えは簡単である。

AAのサービスとは、まだ苦しんでいる仲間に、私たちが原則に  
基いた方法で手を差し伸べることに役立つすべてを指す。

『AA成年に達する 214ページ』



1955年、AA第20周年大会で採択された決議文で以下の宣言  
がなされた。

「私たちのフェローシップが今、成年に達したこと、そして私たちが受け継いできたAAの三つの遺産；  
回復、一体性、サービスを、完全に永久に保持する心の準備ができたという信念を宣言する。」

日本のAAが25周年を迎えようとしています。幸運にもAAと出会い、多くの仲間との一体性の中で回  
復への道を1歩づつ進めている皆様に、自らの落ち着いたステキな生き方を、さらによりよくする為に、い  
ろいろな方法を提案し合い、みんなで考えてみたいと思い、この企画が第4回評議会で採択されて今日に至  
っております。

AAの目的である、「まだ苦しんでいる人々へメッセージを届ける」ことをどのように自分の生き方の中  
で展開させていけばよいのか。色々な経験の分かち合いが、必ず何かを得る所となると信じており、全国か  
ら様々な経験が集まってくると考えています。

11月に各グループへお届けしたアンケートが充分に活用できれば、現在の日本AAが、どのような活動  
をすればより多くの、まだAAと出会うことが出来ずにいるアルコールの問題で苦しんでいる人に愛の手が  
届けられるかの手助けになると思います。

中部・北陸地域のメンバーが実行委員会を作り、念入りに開催の準備を行っています。

以下は概略と予定です。

**開催日程： 2000年4月8日（土） 12:00～21:00**

**9日（日） 9:00～12:00**

**開催場所： ウィル愛知（名古屋市東区「愛知県女性総合センター」）**

宿泊等については55名を予約し、8日の夕食をパーティ形式で行いフェローシップを図ります。また、  
会議室は充分に確保し熱い討議が行われることが期待されます。



フォーラムに参加することも大切なことですが、どうぞメンバーの皆様にはアン  
ケートへの回答を一人でも多くしていただきますようお願いする次第です。

＊（プログラム・テーマ諸々等実行委員会で図り、BOX、ニューズレター  
をお借りし、随時報告させていただきますので楽しみにしてください。）

**AA中部・北陸地域 全国サービスフォーラム実行委員会**

## AA日本ニューズレターNo. 79

編集・発行：AA日本ゼネラルサービスオフィス（J S O）〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル4 F

TEL:03-3590-5377 FAX:03-3590-5419 ホームページ：<http://www4.justnet.ne.jp/^serenity/>